腎臓専門医が在籍する医療機関

【公的病院】

施設名	外来診療日（受付時間）	住所／ TEL
熊本大学病院	月～金　8:30～11:00	中央区本荘 1-1- 1　電話：096-344-2111
国立病院機構 熊本医療センター	月・火・水・金　8:30～11:00	中央区二の丸 1-5　電話：096-353-6501
熊本市民病院	月・木　8:30～11:00	東区湖東 1-1-60　電話：096-365-1711 ※令和元年(2019年)10 月より、東区東町 4 丁目 1-1 へ移転。
熊本赤十字病院	月・火・水・金　9:30～11:00	東区長嶺南 2-1-1　電話：096-384-2111
済生会熊本病院	火・水・木・金　9:30～11:00	南区近見 5-3-1　電話：096-351-8000
熊本中央病院	月～金　8:30～11:00	南区田井島 1-5-1　電話：096-370-3111

【民間病院】

※令和元年（2019 年）6 月現在　掲載の御了承をいただいた医療機関リスト　（50 音順　敬称略）

施設名	医師名	外来診療日（受付時間）	住所／ TEL
朝日野総合病院	伊藤 磁郎 古閑 博子	月～金　9:00～12:30　13:30～17:30	北区室園町 12-10 電話：096-344-3000
仁誠会クリニック新屋敷	中山 裕史	月･水･金　10:00～13:00　14:00～17:00 火･木･土　10:00～13:00 ※日曜・祝日は休診	中央区新屋敷 1-14-2 電話：096-211-5151
腎生会中央仁クリニック	松岡 潔 有薗 健二	月～金　9:00～12:00　13:30～17:00 土　9:00～12:00 ※日曜・祝日は休診	東区下江津 3-7-15 電話：096-334-6655
中村内科医院	中村 享道	月･火･水･金　9:00～12:00　14:00～17:30 木･土　9:00～12:00 ※日曜・祝日は休診	東区健軍 4-3-16 電話：096-367-0701
如水会 嶋田病院	前原 優一	火　14:00～16:00　（CKD外来）	中央区練兵町 24 電話：096-324-3515
博光会 御幸病院	細川 貴規	月～金　9:00～17:30	南区御幸笛田 6-7-40 電話：096-378-1166
松下会 あけぼのクリニック	田中 元子 松下 和孝	月～金　9:00～12:30　14:00～17:30 土　9:00～12:30	南区白藤 5-1-1 電話：096-358-7211
松下会 あけぼの第２クリニック	伊藤 和子	月･水･金　9:00～17:00 火･木･土　9:00～12:30	中央区本山 3-1-2 電話：096-353-2510

※医療機関によって診療時間等の変更がある場合もございます。ご了承ください。

お問い合わせ／熊本市 健康づくり推進課　Tel. 096-361-2145
http://www.city.kumamoto.jp/（熊本市ホームページから「CKD」を検索）

熊本市

成人の8人に1人。

CKD【慢性腎臓病】

8

熊本市ＣＫＤ対策推進
病診連携システム

（熊本市ＣＫＤ対策推進病診連携医用）

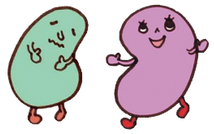
熊本市のCKD対策について

熊本市の CKD 対策は、平成 21 年度より全国に先駆けてスタートしました。当初は新規人工透析導入者の割合が全国平均の 1.47 倍ありましたが、現在は全国平均まで引き下げられるなどの成果を生んでいます。（H29 年度の結果：対全国比 1.03 倍）

しかし、今後高齢化が進む中で生活習慣病に由来する腎疾患患者数の増加が続くと予想されており、CKD 対策の取組をさらに進めていかなければならないと考えています。熊本市医師会や腎臓専門医など関係機関との協働による取組を進め、本市における人工透析患者数を減らすとともに、心血管疾患の予防を進めていき、市民の健康寿命の延伸を図りたいと考えております。

目標

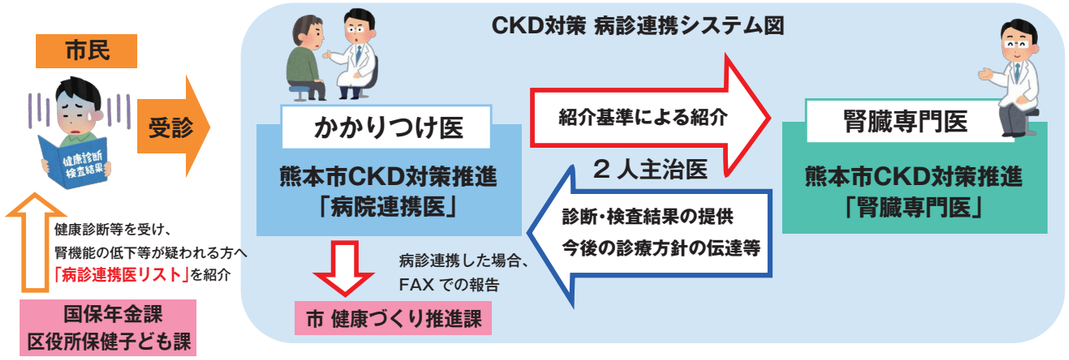
◆ 年間の新規人工透析者を200人以下に減少する
◆ CKDが大きな原因である心血管疾患の予防を進める



生活習慣病予防対策
イメージキャラクター
ジンくんとソウちゃん

CKD対策病診連携医システムとは…

進行度に応じた良質で適切な治療により、CKDの重症化予防と合併症予防の徹底を図るため、
かかりつけ医の先生方と腎臓専門医の先生方が、「紹介基準」をもとに連携する仕組みです。
熊本市のCKD対策推進にご協力いただけるかかりつけ医の先生方を、熊本市CKD対策推進「病診連携医」として登録し、その名簿（**「病診連携医リスト」**）を本市ホームページで公開するとともに、健康診断受診者等への紹介に活用します。



専門医への紹介基準

①～⑤いずれかに該当するもの

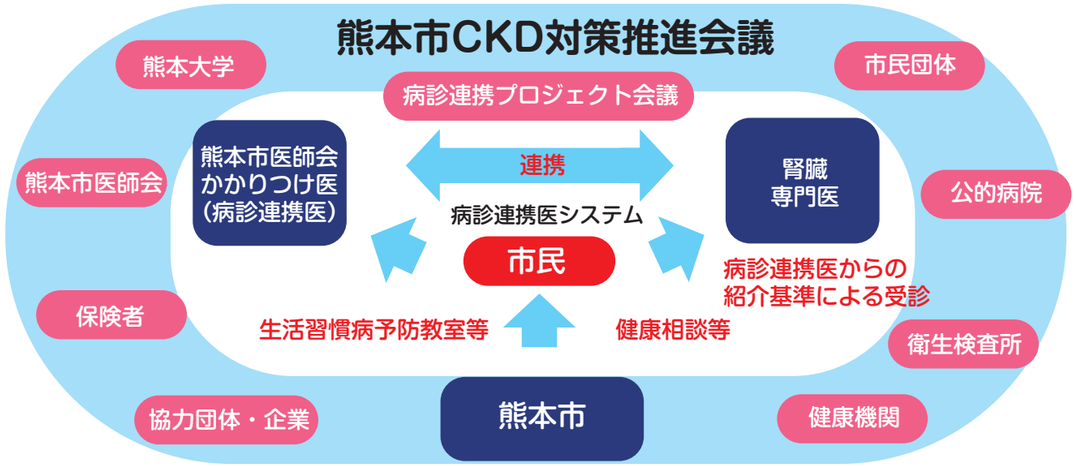
eGFR値（ml/min/1.73㎡）による紹介基準	① eGFR45未満（40歳未満では、60未満）　※糖尿病がある場合は、60未満（70歳以上では、50未満）
	② 3カ月以内に、30%以上のeGFRの低下
尿蛋白による紹介基準	③ 検尿の場合、尿蛋白1＋以上
	④ 尿生化学検査の場合、尿蛋白/尿Cr比0.5ｇ/ｇ・creat以上（随時尿） （1日蓄尿は、蛋白尿0.5ｇ/日以上）
	⑤ 糖尿病がある場合又は血尿がある場合、程度は問わず蛋白尿を呈する者全て （血尿のみの場合、泌尿器科紹介または経過観察とし、経過観察にて症状・蛋白尿が出たら紹介）

※糖尿病がある場合には、眼科受診の有無の確認および毎回の尿検査（微量アルブミン定量は3カ月に1度）をお願いします。
eGFR値は、クレアチニン検査をかかりつけ医から熊本市医師会検査センター等＊に依頼した場合、自動的に算出され連絡されます。

＊株式会社エスアールエル、株式会社CIS　熊本研究所、株式会社チューケン日本医薬中央研究所熊本支社、株式会社ビー・エム・エルBML熊本、パソラボ熊本ラボ、ファルコバイオシステムズ熊本研究所、保健科学研究所　熊本ラボ（平成30年7月末現在）

日本腎臓学会によるCKD診療ガイドラインにおいては、腎臓専門医への紹介のタイミングとして、
(1)0.5g/gCr以上または1＋以上の尿蛋白　(2)eGFR45ml/min/1.73㎡未満　(3)尿蛋白(±)かつ血尿(1＋以上)
(4)3カ月以内に30%以上の腎機能の悪化を認める場合　の4項目があげられています。
特に上記基準の①～⑤いずれかに該当する方については、是非速やかにご紹介いただきますようよろしくお願い致します。

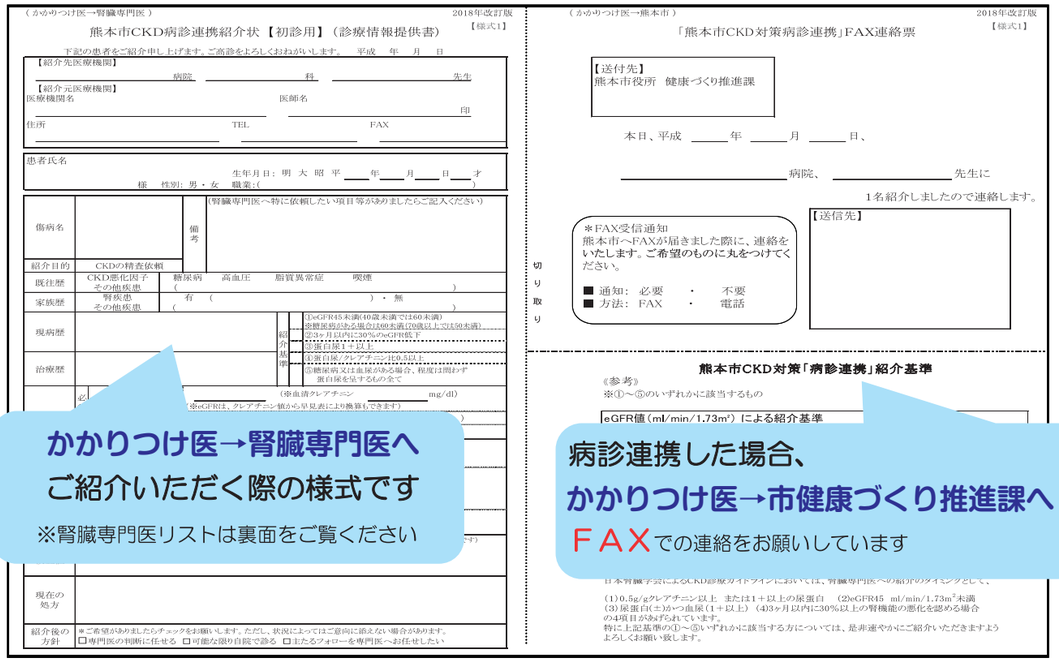
熊本市CKD対策推進連携図



CKD対策病診連携 様式1（診療情報提供書）

様式は熊本市ホームページよりダウンロードできます！
http://www.city.kumamoto.jp/（熊本市ホームページから「CKD」を検索）

診療情報提供書　　熊本市CKD対策病診連携　FAX連絡票



かかりつけ医→腎臓専門医へ
ご紹介いただく際の様式です
※腎臓専門医リストは裏面をご覧ください

病診連携した場合、
かかりつけ医→市健康づくり推進課へ
ＦＡＸでの連絡をお願いしています

【ダウンロード可能な様式】
様式 1 病診連携紹介状・病診連携 FAX 連絡票
様式 2 再紹介チェックシート（腎臓専門医がかかりつけ医に返信・逆紹介するときに使用します。）